

コンビニ初の47都道府県制覇

～ ローソンの歴史と展開 ～

そもそもローソンは、1939年に、アメリカのオハイオ州で生まれました。「ローソンさんの牛乳屋さん」と呼ばれる牛乳販売店を営んでいた J.J.ローソン氏が、お客様の声に応えるためにローソンミルク社を設立して、牛乳だけでなく日用品などの生活必需品も販売するようになったのです。米国北東部を中心にチェーン展開を行い、それが「便利なお店」を意味する「コンビニエンスストア」という業態になりました。



コンビニエンスストア「ローソン」というチェーン名も、アメリカンファームを連想させるミルク缶デザインも、アメリカの牛乳販売店の「ローソン」が発端となっているのです。



日本のローソン1号店

日本では、1975年4月にスーパーマーケットを運営していたダイエーがアメリカのローソンとコンサルティング契約を結び、ダイエーローソンを設立しました。さっそく6月には、1号店を大阪府豊中市でオープンさせました。

1975年9月には、フランチャイズ1号店となる「桃山店」がオープンしました。その後、品揃

えやサービスを工夫し1976年関東エリアへ進出しました。

1979年には、節目となる100店目がオープンし、翌1980年には九州・東海エリアへ進出するとともに、同じ業態のサンチェーンと業務提携をしました。1981年には、中国エリアへ、そして1985年には四国エリアへ進出しました。1986年には、北海道・北陸エリアへ進出し、ローソン・サンチェーンで2,000店を達成しました。

1989年には、ローソンとサンチェーンが合併し、(株)ダイエーコンビニエンスシステムズが誕生しました。1995年には、5,000号店をオープンさせました。

そしてついに、1997年、沖縄県に出店しコンビニエンス業界でいち早く全国47都道府県へ出店することができました。それ以降、2004年に8,000号店オープン、2011年には10,000号店がオープンしました。

2013年2月現在で、全国に11,130店の店舗を展開しています。地域別では、北海道576、東北870、関東3,576、甲信越346、東海953、北陸392、近畿2,216、中国599、四国444、九州1,158店舗となっています。